

石油ストーブの取扱いに注意！



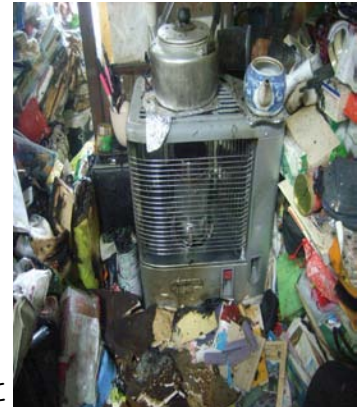
～ 冬季に火災が多発 ～

目黒消防署

冬季には暖房器具に起因する火災が多発しますが、特に、今年の冬は節電対策のために石油を燃料としたストーブやファンヒータの需要が拡大しています。不慣れな器具の使用での火災に注意しましょう。

【石油ストーブの火災】

- 1 最近5年間の主な暖房器具別の火災発生状況は、石油ストーブが180件で、電気やガスなどの暖房器具を含む火災（820件）の2割以上（22.0%）を占め、死者13人、負傷者147人と多くの方が受傷しています。
- 2 最近5年間の石油ストーブによる火災は、「エアゾール缶の破裂等により漏れたガスに引火」及び「石油ストーブの使用中的給油」がそれぞれ33件で最も多く、「布団や衣類などに接触」が23件、「洗濯物などの可燃物がストーブに落下」が13件の順になっています。



【火災を防ぐために】

- 1 エアゾール缶をストーブ・ファンヒーターの上に置くと危険
 - エアゾール缶を使用中の暖房器具の上や近くに放置していると過熱され缶の内圧が上昇して破裂し、爆発するおそれがあります。
- 2 給油する時や寝るときは必ず火を消す
 - 石油ストーブへの給油は必ず火を消し、消火を確認してから行いましょう。
 - カートリッジタンクの場合は、給油後、燃料キャップが確実に閉まっていることを確認してから取り付けましょう。
 - 寝返りなどで布団がストーブ等に接触して火災となるおそれがあるので、寝るときは必ず火を消しましょう。
- 3 燃えやすい物の近くでストーブ等を使用しない
カーテンのそばでストーブを使用したり、ストーブの上や近くで洗濯物を干したりするとストーブに触れたり落ちたりして火災になるおそれがあります。

【灯油の保管】

灯油は、通気性のいい安全な場所に置きましょう。大量保管は大変危険です。



問合せ先
目黒消防署予防課
TEL 3710-0119 内 610

蓋が不完全な状態のタンクを投入した火災

【火災の実験】

【石油ストーブとエアゾール缶の実験】

石油ファンヒータの前にエアゾール缶と衣類



【石油ストーブに洗濯物が落下した実験】

石油ストーブ上部に洗濯物



石油ファンヒータの熱でエアゾール缶が膨張破裂



石油ストーブ上に洗濯物が落下



エアゾール缶が爆発し衣類に着火



石油ストーブ上に落下した洗濯物が燃焼

